

2017年度
スローガン

創造に終わりはなく やっちゃえ 南長野

2017年度 外報紙



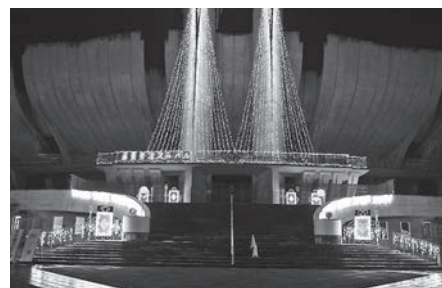
10th Anniversary

南長野イルミネーションコレクション2017

11月23日(木)～12月25日(月) 南長野運動公園 担当 ■ 地域創造委員会 ■



一月二三日(木)に南長野イルミネーションコレクション2017の点灯式を行いました。例年、一月例会として行っていました。今年度は委員会事業での点灯式としました。当日の昼間は「食の合戦」なごの二〇一七が開催され、夕方から「南長野イルミネーションコレクション2017」の点灯式を行いました。点灯式には、音楽演奏などの演出はありませんでしたが、飾り付けをしていただいた方々、特に篠ノ井東小学校の子ども達を中心に多くの方にご参加いただきました。また、共催であります長野商工会議所篠ノ井支部の宮下支部長や、篠ノ井地区住民自治協議会の平林会長、またAC長野パルセイロの大橋元選手とマスコットキャラクターのライオン君に来ていただき、一〇年目の節目の点灯式を祝っていただきました。



点灯式は、例年おこなわれていた音楽演奏などの演出がなく、点灯式に人が集まってくるのだろうかという大きな不安がありました。しかし、開いてみれば飾り付けをしていただいた方々、特に篠ノ井東小学校の子ども達や保護者を中心に多くの方が集まっていた大変感激いたしました。AC長野パルセイロマスコットキャラクターのライオン君の誕生日という事もあり、大いに盛り上がった点灯カウントダウンとなりました。映像が観難かったり、周りに食の合戦のテントがあるとイルミネーションが隠れてしまうなど、反省点はありますが、無事点灯式を終えられたことにホッとしています。一〇年間継続して行っている事業の認知度や重みを感じた時間でもありました。飾り付けをしていただいた一般ボランティアや子ども達と、点灯の感動を共有できた事がなによりうれしかったです。また、一緒に飾り付けにご尽力いただいた方々に感謝の念を抱いた瞬間でもありました。本当にありがとうございました。

委員長所感

佐藤 寛



9月例会

9月15日(金)～17日(日) ホテル国際21

JCI KOREA 西大邱**訪日歓迎レセプション**

企画担当 ■ 総務渉外委員会

九月一日(金)～一七日(日)の日程で訪日事業が行われました。今年はハム・スノン会長を筆頭に八名の西大邱メンバーに訪日していただきました。初日、台風の影響で「九月例会・JCI KOREA 西大邱歓迎レセプション」の開始が

三時間遅れるハプニングもありましたが、それに負けじと深夜まで友好を深めました。翌日は妙高・苗名滝を訪れ、流しそうめんを楽しみ、日本百名滝に選ばれた瀑布を見学していただきました。

**委員長所感**

西澤 寿美

台風影響でまさかの飛行機遅延というハプニングから始まった今事業。そのほかにもほぼ全日何かしらのハプニングがありました。振り返ってみるとそれもよい思い出です。この事業の数か月前に西大邱のハム・スノン会長がソク・ソクボム委員長らと急遽来日し交流を深め、二月の卒業式にはソク・ソクボム委員長とソ・ドンソン君が参加するなど、来年の三五周年に向け、西大邱との間に更なる友情を獲得できたのではないのでしょうか。今度は南長野メンバーが急遽訪韓するくらいでもいいのかもしれません。

すべての行事に参加して頂いた副理事長、西大邱メンバーを成田までお迎えに行っていた山本監事と曾根川副理事長をはじめ、設営や交流の先頭に立って頑張ってくれた総務渉外委員会メンバー、一日目夜中の対応をしていた副理事長の皆様、自ら進んで交流してくれたメンバー皆様に感謝の気持ちを記して、委員長所感とさせていただきます。

**10月例会**

10月15日(日) 長野市営塩崎体育館

**親睦に終わりはなし！
やっちゃんえ南長野**

企画担当 ■ 会員の絆・情熱委員会

一〇月一五日(日)に準会員と会員の絆・情熱委員会の企画で長野市営塩崎体育館にて、準会員とメンバーの親睦を図るべく、一〇月例会「親睦に終わりはなし！やっちゃんえ南長野」を開催致しました。

バレーやバスケットボール、人間かるた等の種目を用意し、メンバー同士汗をかきながら交流をすることが出来ました。表彰式では成績の高いチーム順に豪華な景品が手渡されました。

**委員長所感**

北村 稔

今例会は今年度全体事業の集大成として、準会員が企画・運営するという例会でした。最初は内容に関し様々な意見が出ましたが、スポーツの秋でもありますし、一番親睦が図れて楽しいのではないかと思います。競技のルールも準会員が決めて、より親睦が図りやすいように楽しい工夫を施しました。

準会員がチームのキャプテンになり、試合を重ねるごとに声を掛けたりパスを出したりとチームとしても結束していき、汗をかきながら勝利に向かって奮闘する光景は今例会の趣旨そのものであります。

普段なかなか運動をしていませんので疲れましたが、参加しているメンバーの表情が生き生きとしていて、親睦を深めLOMの結束力を高めることが出来たことが嬉しかったです。

企画から運営までして頂きました準会員、また今例会にご協力して頂きましたメンバーの皆様に御礼を申し上げ、委員長所感とさせていただきます。ありがとうございました。



11月例会

皆で飾ろう!! 地域のひかり

11月11日(土) 南長野運動公園
企画担当 ■ 地域創造委員会

十一月一日(出)に十一月例会として「皆で飾ろう!! 地域のひかり」を実施いたしました。主に一般の小学校、幼稚園、保育園のお子様を持つご家族を対象に、イルミネーションで使用するモミノキ(高さ一・二m)を飾ったり、四角錐(高さ一・五m)にペイントを施したりしていただきました。当日は雨が降ったりやんだりの天候でしたが、外での作業をオンラインピックアップスタジオのフリースペースに移し、午前、午後の二回に分かれて飾り付けなどをしていただきました。モミノキの飾り付けの一部として近くの幼稚園や保育園の年長さんに将来の夢ややりたいものを書いていただき



いた紙を使用しました。楽しく飾り付けした後は、外に持って行き設置もしていただきました。参加者は一七組で約七〇人になり、皆様の思い出に残る例会となりました。

委員長所感

佐藤 寛

今年で一〇年目を迎えたイルミネーション事業ですが、地域活性化の為に必要があると感じました。他団体や学校団体、企業や地域の方々などと一緒に作り上げるイルミネーションを目指しました。例年、点灯式を例会として行っていました。今年もイルミネーションの準備段階から参加いただけるように、飾り付けを例会にしました。地域に住む一般のご家族の方々にも気軽に参加していただき、地域の風物詩に成りえるこのイルミネーション事業をもっと身近に感じていただければ、思い出に残る風物詩として定着していくのではないかと思います。応募者も多く、当日の生憎の天気の中、ご家族で楽しそうに飾っていた姿を見て、行ってよかったと実感しました。更に点灯した時に感動を分かち合うことができる事業になったのではないのでしょうか。

最後になりますが、例会日は一般のボランティアを含めると、メンバー以外の方が一〇人以上イルミネーションの飾り付けに参加していただきました。計画不足などの多々至らない点も多くありましたが、メンバーのお力でなんとか無事に例会を終える事が出来ました。この場を借りて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



12月例会

12月12日(火) サトウ会館

第56期生卒業式

企画担当 ■ 会員の絆・情熱委員会

十二月二日(火)にサトウ会館にて会員の絆・情熱委員会主催で、十二月例会第五六期生卒業式を開催しました。

本年度は、山本知計君(在籍一三年)、月津洋一君(在籍一一年)、関裕司君(在籍九年)、曾根川宏一君(在籍五年)、西澤寿実君(在籍二年)以上五名の卒業、例年通り卒業生のセレモニーから始まりました。

続いて、理事長挨拶、卒業生の活動記録映像の上映、卒業証書授与、記念品贈呈と続き、歓談時のアトラクションはギネスに挑戦する企画や、卒業生チームに西大郎メンバーと次年度委員長を交えてのチーム対抗ボール運び競争で大いに盛り上がりました。

終盤には卒業生と関係の深い皆様から頂きました。



デオメッセージを上映し、プレゼンターから花束贈呈と卒業生の感動的なスピーチで第五六期卒業式を締めくくりました。

委員長所感

北村 稔

改めて卒業生の皆様へ卒業おめでとうございます。

今年度の卒業式は会員の絆・情熱委員会が担当し、準会員が司会に準備に大活躍して頂きましたこと大変感謝しております。

今年度の卒業生は五名です。スピーチ時間を多く取り、卒業生と関係の深い皆様からのビデオメッセージも撮影し上映しました。また姉妹締結しているJCI KOREA 西大郎から二名がサプライズでお越し下さりお祝いに花を添えて頂きました。

卒業生一人ひとりのメッセージはLOMを愛し、JCI活動が大好きで、残された我々メンバーに対する期待だと思えます。卒業生の想いをしっかり受けとめ、継承し悔いのないJCI活動をしなればと感じました。

最後になりますが、今例会にご協力頂きました皆様に御礼を申し上げ、委員長所感とさせていただきます。ありがとうございました。

第56期生メンバーご卒業おめでとうございませう。



西澤 寿実 君



曾根川 宏一 君



関 裕司 君



月津 洋一 君



山本 知計 君

10月20日(金)・22日(日)

大韓民国
西大邱

2017訪韓事業

担当 ■ 総務渉外委員会

一〇月二〇日(金)・二二日(日)の日程で大韓民国・大邱広域市を訪れました。初日はJCI KOREA西大邱 公式LOM訪問を行い、九月に訪日していただいたお礼をし、訪韓記念品を贈ったところ、サプライズで松茸と朝鮮人参酒の振舞いを戴きました。

二日目はメンバーの車に分乗し大邱から一時間ほどにある韓国一の柿の名産地・清道のワイントンネルや闘牛場を見学したあと、西大邱第二代会長の経営する焼肉屋でカルビに舌鼓を打ち、ホテルに戻ってJCI KOREA西大邱創立四三周年式典と歓迎レセプションに参加いたしました。両日とも夜遅くまで大いに語らい、絆を深めました。

最終日はまた来年お互い元気に会えることを誓い、帰国の途に就きました。



委員長所感

西澤 寿実

私にとって二度目の訪韓となりましたが、昨年と同じく熱烈な歓迎を受け、非常に楽しい時間を過ごすことが出来ました。西大邱メンバーと一緒に行動することで、西大邱の良い所を感じるとともに、南長野青年会議所の良い部分も見えてくるのがこの事業の面白い所です。両会議所が互いの良い所を感じ学び取っていくことで、お互いの成長にもつながるでしょう。

話は変わりますがインターネット上などで韓国に対して批判的、時には差別的とさえ思える言動を目にすることがあります。しかし先輩方や我々はそのような空気に流されず、一対一のひととして交流を持つことで、確かな友情を築いてきました。このような民間交流を重ねることでお互いの理解が進み、将来的に様々な問題も解消に向かい、ひいては世界平和にも通じる道なのではないかと感じています。

今年は卒業生五名全員で訪韓することができ、まるでJCIの卒業旅行のようで記憶に大きく残る出来事となりました。

全国大会 in 埼玉中央大会

九月二十九日(金)から一〇月一日(日)迄、埼玉県にて全国大会が開催されました。

快晴に恵まれた埼玉の地にて、二〇一七年度五名のメンバーが(公社)日本青年会議所の卒業式を迎えました。今年度の卒業生は五名と多くはありませんが、関理事長をはじめ今年度当LOMの幹となり活動・活躍をして

第三回通常総会

担当 ■ 総務渉外委員会

12月12日(火) サトウ会館

十二月二日(火)にサトウ会館にて(公社)南長野青年会議所二〇一七年度第三回通常総会を開催いたしました。

今総会では二〇一八年度に関する四議案が全会一致にて承認されました。またバッジ、プレゼンシャルリースの継承も行われ、二〇一八年度・小山丸が出港する準備が整いました。

来年度はルーム移転等でLOMにとって大きな転機の年となりそうです。引き続き(公社)南長野青年会議所をよろしくお願い致します。



2018年度理事メンバー

きたメンバーばかりです。LOMナイトでは卒業生の熱い気持ちを参加した総勢一三名で分かち合う事が出来、卒業生の想いは「かがり火」となり残るメンバーのJCI活動や仕事への火種となったのではないかと感じました。

最後になりましたが、卒業されるメンバーの皆さん、大変お疲れ様でした。卒業おめでとうございませう。

専務理事 久保 廣範



二〇一七年度御礼

理事長 関 裕司

本年は、「創造に終わりは無い やっちゃえ南長野」をスローガンに掲げ、一月よりスタートしました。そんな二〇一七年度も残りわずかとなりました。時代が移り変われば我々がやるべきことは次々と変化し、無限大の可能性があると考える、頭で考えるだけでなく、やるべき行動としてほしいと願ひ掲げさせて頂きました。

昨年は周年の年であった為、これまでの先輩方の歩みをメンバー一同が再認識させて頂きました。(公社)南長野青年会議所の創立から今日までの地域に対する情熱を本年も変わらずに力を注いできました。特に、新規事業は何度となく壁にぶつかり多くの時間と努力を費やしました。おそろく断念も考えなければならぬほどの困難もあつたかと思いますが、諦めずに挑戦していくという私の所信を信じ何とか事業の立ち上げに至りました。この成功ができたのもご協力いただきました関係諸団体様、多くの地元企業の皆様のおかげであると感じています。また、事業を立ち上げてからも多くの協力とアドバイスにより地域に浸透していると感じています。そして事業の目的として「まち」に光を照らす事と「ひと」に幸せを感じてもらいたいという想いを込めていたことが出来ました。今までは当会議所は、集客が苦手でしたが本年は多くの方々にご理解を頂き多くの参加者と共に事業を開催することが出来ました。これも、我々青年たちが青年らしく挑戦し、新たな礎を築くべく今年一年邁進したこと、地域の皆様からの評価の表れだと感じています。ありがとうございました。

来年は事務局のある長野商工会議所と、井支所の取り壊しが行われます。ご不便等お掛けすることもあるかと思いますが、総務委員会を中心に事業運営、組織運営をさせて頂きますので宜しくお願い致します。

最後に、二〇一七年度の事業が全て滞りなく開催できましたのも、関係諸団体の皆様方先輩、諸兄の皆様方のご指導ご鞭撻の賜物であると感謝申し上げます。また二〇一八年度も今までと変わらぬご指導、ご協力をお願いしまして二〇一七年度理事長のご挨拶とさせて頂きました。一年間誠にありがとうございました。

編集後記

早いもので二〇一七年も残りわずかとなりました。改めて本年を振り返ってみますと、世相を表す漢字が「北」であったように、度重なる弾道ミサイルの発射や核実験の強行など、北朝鮮の動向に脅威を感じた一年でありました。その一方で、中学生プロ棋士としてデビューし、最多連勝記録を更新した藤井聡太四段や、陸上二〇〇mで日本人初の九秒台となる九秒九八の日本新記録を樹立した桐生選手など元気をもらえる明るい話題も多くありました。

本年度は関理事長による「創造に終わりは無い やっちゃえ南長野」のスローガンのもと、活動して参りました。失敗を恐れず果敢に挑戦した事業も滞りなく全て終了し、関裕司丸は無事に帰港致しました。そして、二〇一八年度は小山和伯丸が「明るい豊かな社会の実現」へ向けて出航します。今後も(公社)南長野青年会議所の活動にご期待下さい。

最後になりますが、先輩諸兄、関係各位に改めて御礼を申し上げます。引き続き外報紙「かがり火」のご愛読をお願い致しまして、本年度最後の編集後記とさせて頂きます。一年間ありがとうございました。

総務渉外委員会 小林 俊介

会員募集!!

南長野青年会議所は、新しい仲間を募集しております!

今しか会えない仲間がいる。今しかできないことがある。

お問い合わせ先

(公社)南長野青年会議所事務局

☎026-292-2310



公益社団法人 南長野青年会議所

〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1

TEL : 026-292-2310 FAX : 026-293-5709

E-mail : minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

発行元：総務渉外委員会

編集長：小林 俊介

印刷所：有限会社サクセス

ホームページ更新中!
是非ご覧下さい!!

南長野青年会議所

検索

かがり火のバックナンバーはホームページでご覧ください。